

シーン3

「ふぁ……これ体全部入っちゃうなんて、息できるのかな。でも、身体動かせない中でにゅるにゅるにいっぱい弄って貰えるのすっごく気持ちよさそう……あ、値段。ゼロが一個多い。だよねー、基本セットの2、3倍以上あるし……」

「上級者ページ、結構種類あるんだ……うう、私のお小遣いじゃ基本セットを月〇〇回頼むのが精いっぱいだから……お年玉とかを頼るしかないのかなー。でも、上級者セットは一時間コースなんだ、20分でもしばらく経てなくなるぐらいだったのに、一時間、ど、どうなっちゃうんだろ」

「あ、サマーセール？ ポイント5倍……これなら」

「やったー、上級者向けのセットもいくつかセールに入ってる！」

「うわー、イソギンチャクベッドタイプもいいけど、こっちの精液スライムプールセットも凄そう……」

「割引ポイントもあるからどれでも買えるけど」回分だけだからきちんと選ばないと」

「湯舟に三分の一ぐらいのお湯をはって、触手さんの素を……」

「わ、わ……これは思ってたよりも、ごくろ……おっきなバナナの浮き輪ぽい形？　こ、これにまたがるのかな……いろんなところから触手おちんちんが伸びてて、基本セットでもめちゃくちゃにされちゃうのにこんなの……絶対気持ちいい♡」

「お風呂か大きめのビニールプールを用意してくださいって書かれてたのも納得の大きさだね。うちのお風呂場に入ってた……ん、ふぁ……私の部屋と違って締め切ってるから匂いがすぐこもって、ん♡」

「あ、目もあるんだ……おっきなのから普通ぐらいのも結構いっぱい。おもちゃなんだからこの目も作り物なんだろうけど……ふぁ♡　見られてると思うってぞくってきちゃう。どうしよう私どんどん変態になってきてる」

「でも、触手さんこんなエッチな匂いでトロトロだし、せっかく買ったんだから……ちゅ♡　今日もよろしくね」

「はぁ……はぁ……♡」

（おっきなバナナの触手さんの先端からも粘液びゅっびゅっでしちやて、まんまおっきなおちんちんだね……♡　ふぁ♡　私これからおちんちにまたがってオナニーするんだ♡　ん♡　私のエッチなところもよだれながしちやってる……♡）

「そ、それじゃぁ……よいしょっと。ひゃ、お尻舐めちゃ、んっ、んぁっ♡……前と後ろねっとり舐められて、あ、あ♡」

「はう、んふっ……あん……ハー、ハー……くうっ、ん、んふう……腰うごいちゃう♡
んあ、あ、あ♡ 触手さん最初からとばしすぎい♡……んはあっ……お豆くりくり、ん♡
私、今絶対人に見せられない姿になってる……んふう♡ ふうー、ふあっ♡……はあっ、
あ、あ……♡」

「はあ、はあっ、はっ♡……っこちもシコシコするの？ んふうっ、私が触手さんのオナ
ニー手伝ってるみたいで、触手おちんちんの感触、ぷにぷにで硬くてぬちよぬちよがいや
らしくて……はっ、はあ♡ どんどんドキドキが大きくなっちゃう」

「あ、あ、ああっ♡……んっ、んあ♡……もっと私のあそこるところにシテッ♡……ん、
んっ、んんん♡……はあ、はう……ふー、ふーっ、んっんん♡」

「触手さんも準備できたの♡ それ、いつもの触手チンポ♡ 私のお気に入りちっ
ちな触手がまとまったやつ♡ はやく、はやくう！ 私のおまんこも準備万端で気持ち
いの待ってるの♡」

「ふあっ、ん♡ 入って……なかがりごり気持ちよくして進んでる♡ んちゅ♡ これと
同じのが中に入っちゃってるんだ♡」

「はあっ、はあっ♡……ん、ふあ♡……あ、あああ♡ ひゃあ♡ そこ、お尻のっ……そ
うだったふた、ふたつ穴用って書いてあったあ♡……んああっ、ん、んんっ♡ うそ私の
お尻すんなり入っちゃった！？ んお♡ や、だめ♡ んんあ♡ 変な声、出ちゃう♡」

「ん♡……あ、あ、あー♡……ふぐう♡……んっ、んあっ、はう……っふあ、んんっ
♡！……あ、あっ、あ、あっ、あー♡……触手さん♡ しゅごい♡ お尻のなかどん
どん入っちゃってるう♡♡！？」

「あ、あ、触手さんにお尻のっ、入ってるところ、見られてるう♡ ひゃあ♡」

「ハアッ、ハアッ♡!! ふぁッ♡!!……ん! ふう♡! ふうっ♡!! はうっ、んんっ♡……ん♡ お尻の中あ♡ 長いからっ、触手さんが入るところ長いからずりゅずりゅ入口にい♡ こすれるのきもちいい!? これ、ひゃあ♡ これ、だめ♡ こんなの初めてのなのにい、ひいい♡ 気持ちいいの、が、ずっと、んひいい♡ キチャう!? んあ♡ これすぐイチャううっ♡……!!」

「ん♡……あ、あっ、あ、あー♡……ふぐう♡……フウ、フッ!……ん♡ んん♡ ふ……おあっ、んおっ♡ フウ、フッ!……ん♡ んん♡ ふぁっ♡!!……ハアッ、ハアッ♡!! ふぁッ♡!!……ん! ふう♡! ふうっ♡!!」

「お尻とっ、おまんこっ、交互に♡ 中でこすれてえっ♡ んひっ、ん、んん♡……ふー、ふー♡ あ、触手さんもっ、せーし出す準備っ、んあ♡ できての……んんっ、いま、触手せーし中に出しやれたらあっ……あ、あ♡……私、どうなっちゃうんだろっ♡ んあ、あ、あ、ああ♡ 出すの出しちゃうの!??」

「身体おもちゃみたいにはじゅんで、中に♡ んん♡ んー♡ んんー……♡ イく、だぶる触手チンポでイクううううっ……♡♡♡……!!」

「はあ、はあっ、ひう……びゅっびゅーって射精しゅごい……んあ♡ おなか一杯に射精しゃれて、私イっちゃったあ♡ ふあ、あ♡」

「はふう、ふぁ……はあ、はあ♡……んっ、え、触手さん……あ、今はちょっと、ダメいま抜かれるとッ……ん、んあああ♡」

「ずりゆりゆりゆって♡ あ、あ♡ ああ♡ 入る時より早く、んあ♡♡ しよくしゅにゆかれちゃっ♡!?! あ、あああ—————」

「んひいつ、ひゃ……はあ、ふああ♡♡ 出しちゃったあ……ぶりゆりゆって、ん♡ お尻からも前から、ほかほかの、触手せーし、噴水みたいに♡」

「ふー、ふー♡♡ でも、すごい気持ちよかった。見られてるってのもとってもエッチなシチュエーションだったし……ん♡ さすが上級者セツト……あん♡ うあ、触手さんまだまだあるね……ちゅぱ♡♡ ん♡ どろどろのせーし、とってもエッチで美味しい♡」

「ハァ……ハァッ……この形もたれかかるのにちょうどいい。ん♡ 今度の触手さん？……お、おっきい。さすがに入らない……あ、ぱかって開くんだ。ふあ、なかつぶつぶでいっぱいこりこりの突起もあつて……んあ♡♡ ちょっと怖いけど、え、おっぱいもの！？……んああ♡♡ 敏感なところ全部すいてえ♡」

「ん♡……あ、あつ、あ、あつ……はあ、はあ！……あ、んあ♡!……フウ、フッ……ん♡♡ んん♡♡ あひいつ♡♡ 中、入れられてるっ、わけじゃないのに♡♡ クリトリス♡♡ 乳首♡♡ くりくりされて、んは♡」

「ひゃん♡♡ ひゃあ♡♡♡ 触手さんに舐められて、あま噛みしやれるの、ん♡♡ んん♡♡ んっ————♡!?!」

「おしっこ出ちゃって♡♡ 飲まれちゃうのも、んあ♡♡ なれちゃった♡♡ ごきゅごきゅ聞こえるのはまだちょっと恥ずかしいけど……んあ♡♡♡」

「はあ、はあっ♡……あ、新しい触手さん……んちゅ♡ ん♡……れろれろ、お返しなのかな？ きゃっ、粘液噴き出しながら突き付けちゃって……ちゅぽ♡ こんな臭いの、ん♡……ふぁ♡ 嗅いじゃったら♡……んんっ♡！？ こっちにも欲しくなっちゃう」

「じゅぷっ、じゅぶぶ♡……ふー、ふー♡……んぁん♡……んっ♡」

（口の中、触手チンポでいっぱい♡ さっきまで、お、おしりと子宮の前までこれと同じものが入ってたんだ♡ セーしの匂い濃くて、頭の中まで犯されちゃってる気がしちゃう……お、オナニーだから。これも触手オナニーだから。大丈夫、だよね）

「んぶ♡ んお……ん、ん♡……触手セーし、とってもエッチな味♡……もっと、もっとちょうらい♡……ん、んふっ♡……じゅるっ、じゅぶぶ♡……じゅぽ、じゅぽっ♡」

（お尻舐められて♡ クリトリス剥かれちゃってえ♡ おっぱい吸われながら、喉の奥まで触手チンポで貫かれるのすごい♡ 気持ちいいの溢れちゃって……）

「んお♡ んん♡……じゅぶぶ♡ じゅっぶ♡……ふうー、んうー♡」

（触手チンポ早くなって、来る、セーし♡ 触手さんのどろどろの精液上ってくるのわかつちゃう♡ 射精、私の喉おまんこに種付け射精♡）

「ん、ん♡……んんんっ♡……♡♡♡……！！」

（あちゅい♡ 喉の奥まで入って直接出されてるう！？ おなかでくっさい精液あじわっちゃってる♡♡♡！？）

「ぐっぷっ、んお……えほっ……はあ、はあっ、はあ♡……しゅごかったあ。頭くらくらで……んちゅ♡ 精液大好きなエッチな子になっちゃった……ちゅぽ♡ れろっ、んふっ♡ ちゅ♡」

「んちゅ♡……ちゅちゅ、ちゅるっ♡……じゅるっ、じゅぽ、じゅぶぷ♡……んちゅ、ちゅ♡……れろ、れろれろ♡……ん♡　んーっ、んちゅ♡……あ、ああ♡　ばなのさきっちょからめくれて、ん♡　ふぁ♡　これでめちやくちやにしてくれるんだ♡　こんながちがちのとろとろの触手チンポいっぱいそろえて、全身の穴もおっぱいも、クリトリスも全部気持ちよくしてくれるんだ♡……はぁ、はぁっ♡」

「ん、んんっ♡……んちゅ♡　んん♡……んー！？　おっぱゅ♡　んぷっ♡……んはっ♡　んん♡」

（お尻、おまんこ、お口、3つつ同時に、いちばんふとい触手チンポ入って来た♡ これしゅき♡ 体中で触手チンポ感じてゐるの♡ もっと、もっと、ちんぽいっぱいちょうだい♡）

「んふうー、んふあっ♡……ん、んんっ♡……んっぶ♡
じゅるっ♡♡♡」

（もう、精液の匂いしかしなない♡ 触手さんの精液鼻の奥から逆流してっ♡ 全身で触手さんのせーし感じてる♡ いっぱい声出したいけど喉の奥まで触手さんに犯されて♡ でも、苦しいのに気持ちいいのが塗りつぶしてるの♡）

(ふぁ♡ 触手さんのちんぽ♡ ちんぽ♡ ちんぽ♡ ちんぽ♡ ちんぽ♡ ちんぽ♡
ちんぽ♡ ちんぽ♡ ちんぽ♡ だいしゅき♡♡♡!!!()

「じゅぷっ♡
じゅぽ♡
じゅぷっ♡
じゅぽ♡
んっ♡
んんっ♡♡♡
」

「んはっ♡ ふあっ♡ あちゅあちゅのせーし美味しかったあ……んあっ♡ 声を思いっきり出せるように口から出てくれたの？ それじゃあ、おっぱいと手でばいずりしてあげる♡ おしるが詰まった触手さんの先端見ながらエッチな嬌声上げる私を見て♡」

「はっ、はあっ♡ んひゃあ♡!! 触手さんの触手チンポで、身体♡ はねるぐらい突き上げてえ♡ んん♡ おなかずんって♡ あひっ♡ あひゃ♡ もっと見て♡ あ♡ ああ♡ こんな普通のオナニーじゃ絶対できない♡ 触手さんオナニーでイッちゃう私を見て♡♡!!!!」

「んあっ、あああ♡ イっちゃった♡ いろんなところからお汁出して私イっちゃったよ♡ んん♡ あはっ♡ 触手さん♡ セーし出しながらついてくれるの止まらない♡ あんっ♡ 胸の中に挟まってる触手さんもビクビクって♡ 出したい? 出したいんだ♡ いいよ、私の中に出してみたいに、触手さんのどろっどろのせーしいっぱい出して♡! ちゅ♡」

「ん♡ あ♡ ああ♡ んぶ♡……れる♡ 触手さんの精液浴びてまたイクっ♡♡ んあ♡ んん♡ イってるのにまたイって♡ ああ♡ イきっぱなしで♡ ああああ♡ ……ん♡……あ、あっ、あ、あっ、あー♡……ふぐう♡……フウ、フッ!……ん♡ ん♡ ふあっ♡!……ハアッ、ハアッ♡!!」

「んひいっ♡ んお♡ ん、ん♡ んーっ♡♡♡ もう、私い♡ 触手さんの一部になっちゃう♡ 触手さんにつかれて、もまれて、見られて♡ 嬌声上げるだけのものになっちゃうてる♡」

「ひっ♡ ひぐっ♡ またくる♡ 身体壊れるぐらいの気持ちいいのが♡ いひい♡ イグ♡ あ、ああ♡」

「イクうううっっ♡♡♡♡!!」

「はあ、はひっ♡……触手さん激ししゅぎい……ん♡ おしりぱっくり空いちやってせーし流ればなしだ♡」

「ふえ♡……あ、まだ、1時間経ってないんだ……え、ちょっとやすま、んあ♡……あ、あっ♡ しょこだめ！？ ああああ♡♡♡」

「あ、ああああ♡ あっあ♡ あ♡ あ♡ あ♡ あああ♡ あああ♡ あああ♡ ああ
あっっっー♡♡♡……！」